

なぜ雪崩事故が継続して発生するのか？

日本勤労者山岳連盟・中央登山学校では、30年以上にわたって「雪崩事故を防ぐための講習会」を開催してきました。多くの仲間を雪崩事故で失ってきたからです。しかし、近年の積雪期における天候不順もあり、国内の雪崩事故は発生し続けています。雪崩事故に関する研究や対策も行われていますが、まだまだ一般には普及しておらず、雪崩トランシーバー（ビーコン）を装着しないで雪山に入山している例も少なくありません。私が先日、訪れたドイツ・ミュンヘンにある大きなアウトドアショップでは正面入り口に雪崩エアバックの展示がありました。欧米では普及しているようですが国内では、ほとんど使われていません（私たちの講習会では3年前から導入し、現在2種類を試しています）。



私たちは雪崩に対する知識不足、装備不足、訓練不足で亡くなる人を、一人でも減らしたいと考えています。

今回は、今年3月に発生した那須の雪崩事故を受けて、発生当日からテレビのニュース番組に生出演した講師をはじめ、実際に雪崩に遭って全身埋没した講師も参加し、雪崩事故の実態についてお話をします。参加者からの、意見や質問も受けます。雪崩事故に関心のある方なら、どなたでも参加できますので、下記の申込用紙に記載して申込下さい。

日本勤労者山岳連盟「雪崩事故を防ぐための講習会」 川嶋 高志

申込先

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24 日本勤労者山岳連盟

FAX 03-3235-4324 Mail jwaf@jwaf.jp

.....キリトリ.....

申込用紙

2017. 11. 22 「雪崩教育」 シンポジウム

氏名	性別	年齢	所属	連絡先（携帯電話等）